



仕様書番号	T-940990C01
作成年月日	'94年 11月 14日
作成部課	雷防護機器課

東京都品川区大崎4-3-8

株式会社サンコーシヤ

電話 03-3491-7181 代表

LSA-PLUS PF 心線変換モジュール切分タイプ仕様書

1. 概要

本品は、通信用ケーブルの接続に用いられる、クイック・クリップタイプのプロファイル用マウント（ロット棒）に装着して使用する端子板です。端子板の中央部にあるコンタクトは、弾器構造となっており無瞬断機能を有しています。本品は、特にMDF・IDF等における弾器盤として使用できる他、各種保安器を搭載することができます。

なお本品は、ケーブル側には導体径 $\phi 0.9\text{mm}$ 、ジャンパ側には導体径 $\phi 0.4 \sim 0.8\text{mm}$ を接続できるよう設計してあります。

2. 使用条件

2.1	温度範囲	-20℃ ~ +80℃
2.2	湿度範囲	90%以下（結露しない状態）

3. 構成

本品の構成は、表-1のとおりです。

表-1

主要構成部品	数量	材質
端子部ケース	1個	熱可塑性樹脂 (UL94 V-0)
コンタクトピン	10対 : 40個	特殊黄銅 (銀メッキ)
クリート部	1式	熱可塑性樹脂 (UL94 V-0)

4. 種類

本品の種類は、表-2のとおりです。

表-2

品名	名称	図面番号
6468 2 050-10	10対PF切分心線変換モジュール(1-0)	A6468205010

5. 接続心線範囲

ケーブル側	;	適合被覆外径 : $\phi 1.65 \sim 1.9\text{mm}$
		適合導体径 : $\phi 0.65 \sim 0.9\text{mm}$
ジャンパ側	;	適合被覆外径 : $\phi 0.7 \sim 1.5\text{mm}$
		適合導体径 : $\phi 0.4 \sim 0.8\text{mm}$



6. 接続線数

1 端子への接続心線数は次のとおりです。

ケーブル側 1 本まで

ジャンパ側 Max 2 本まで

但し、複式接続の条件は、下記の条件を満足すること。

導体径が同一心径でなおかつ $\phi 0.5 \sim 0.65$ mm の範囲に限る。

7. 性能

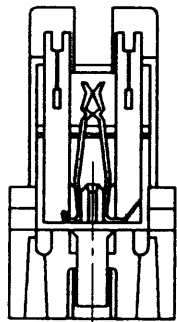
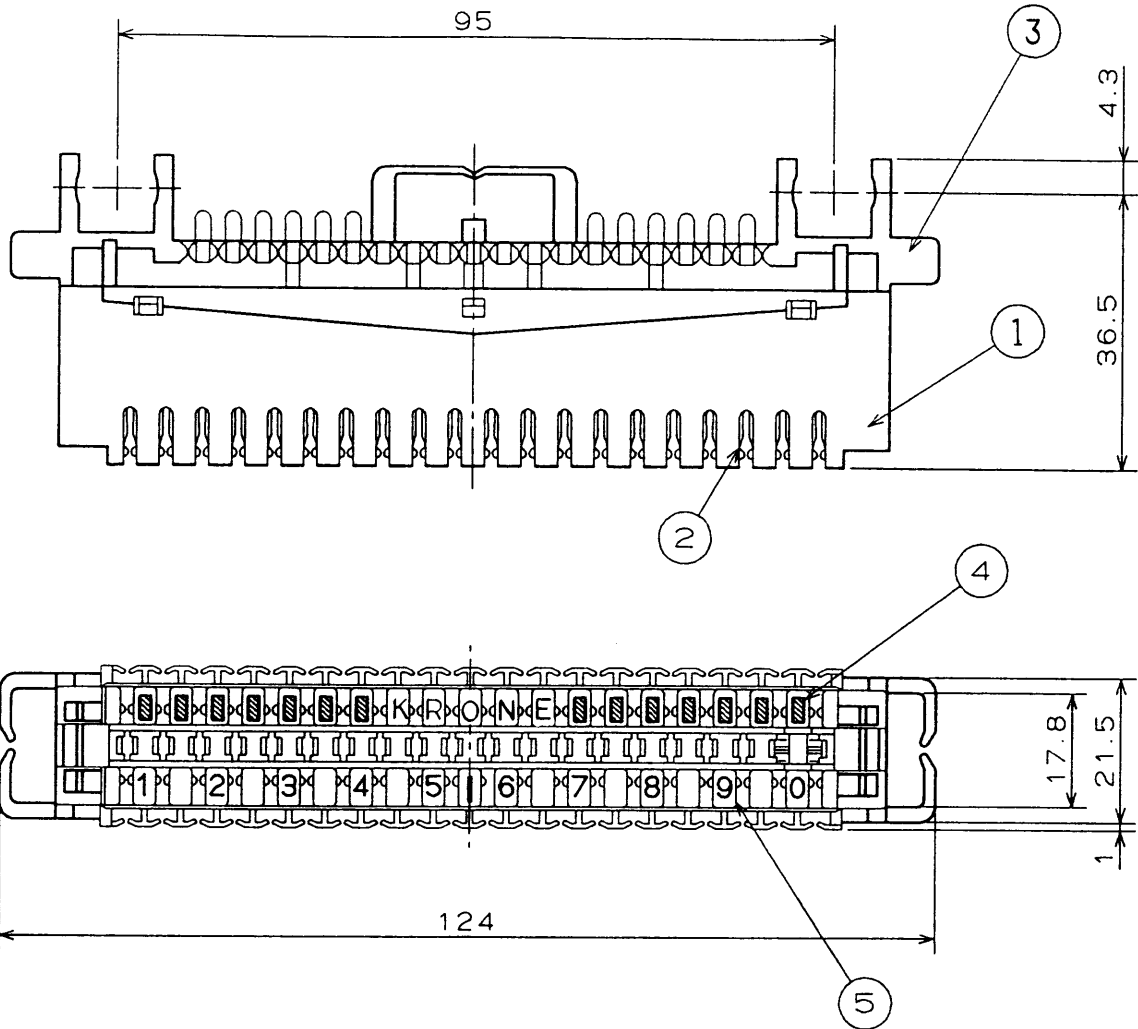
LSA-PLUS PF 心線変換モジュール切分タイプの性能は、表-3 のとおりです。

表-3

項目	性能	備考
絶縁抵抗	DC 500 Vメガにて 50,000 M Ω 以上	端子相互間, 端子～アース間
耐電圧	AC 2 kV rms 1分間	端子相互間, 端子～アース間
接触抵抗	10 m Ω 以下	(導体抵抗含む)
動作減衰量	0.1 dB 以下	DC~2 MHz
漏話減衰量	110 dB 以上	0.3~3.4 kHz
	100 dB 以上	3.4~10 kHz
	60 dB 以上	10 kHz~1.2 MHz
	50 dB 以上	1.2~20 MHz

注記 : 性能の測定条件は、JIS Z 8703 (試験場所の標準状態) に記す常温 (20 ± 15 °C) ・常湿 (65 ± 20 %) による。

以上



端子部断面詳細

部番	部品名	数量	備考
1	端子部ケース	1	クリーム色
2	コンタクトピン	40	銀メッキ
3	クリート部	1	灰色
4	ケーブル側マーキング	14	青色マーキング
5	番号表示	10	黒色マーキング(1-0)

DSN	雷防護機器課	930720	UNIT mm		TITLE
DWG	<i>K. Enomoto</i>	930720	SCALE	DWG NO.	6468 2 050-10
CHK	H. Ohara	93.9.10	1/1	A6468205010 b	10対PF切分 心線変換モジュール(1-0)